

令和 3 年度
小規模多機能型居宅介護 芳苑
事業報告書

(1) 基本方針

住み慣れた地域でゆっくりと、自分らしく生活を。

(運営方針)

- ① なじみのある地域の中で生活が継続できるように、状態に応じた個々に合った支援と良質なサービスの提供をさせていただきます。
- ② ご利用者一人一人の生活習慣、「できること」を活かし、自立支援を含んだ支援を行います。
- ③ ご利用者、ご家族、地域が求める情報を常に発信し、交流の場、誰でも相談できる窓口となる施設になるよう努めます。

(重点目標)

- ① ご利用者一人一人の状態や生活歴、日々の日課などを、改めてご家族やご本人から細かく情報収集を行い、生活習慣に合わせながら「できること」を活かした自立支援につながる支援に努めました。
- ② 日々の状態変化の情報共有を行いながら、ご家族と連絡を密にし、いつもと違うという小さな変化等から、今後起こり得る状態を早期に把握することに努めました。また、ご本人やご家族が不安にならないよう、今後の生活を視野に入れた対応を行うことができました。
- ③ 新型コロナウイルス感染予防の為、来苑して頂く機会はなかったですが、地域と関係が途切れないよう、公共施設への訪問、ご近所の方々との交流を行いながら、苑の情報を発信し、地域の方々にとって身近な施設になるよう環境作りに努めています。
- ④ 研修担当者を毎月定め、研修担当者が講師となり、講義だけでなく、シミュレーションや実技を踏まえながら研修を行なうことを徹底しました。事前に研修資料を配布し、資料内容を把握したうえで、質問事項を考え発表する体制にしています。そうすることで、知識、技術を身に着けることができました。今後も目標設定、振り返りを行い、知識、技術の向上に努めていきます。

(2) ご利用者に対するサービス

● 食事

ご利用者の嚥下状態、咀嚼状態、食後の口腔内の様子を確認し、食物に

よって食事形態の変更を行い、安全に尚且つ、美味しいと感じて頂けるよう対応しております。見た目でも楽しんで頂けるよう、食材の盛り付けにも気を付けながら、食器の配置等を工夫し提供させて頂いています。

- 入浴

ご利用者の状態に合わせ、できるところをご自分でして頂き、不十分なところは介助を行っております。週 2 回～3 回入浴され清潔保持に努め、頭皮や全身の皮膚観察を徹底して行い、異常の早期発見に努めております。又、ご利用者のペースに合わせゆっくりと入浴を楽しんで頂けるよう努めています。

- 排泄の介助

定時での誘導、声掛けを行いながら、排せつパターンの把握に努めています。自立されているご利用者には、排泄状況の確認し、プライバシーに配慮しながら、個々に適した対応を行っております。使用後には毎回、トイレ内（便座や手すり等）の細かいところの消毒を行い、快適に使用して頂けるように努めています。

- 送迎

運転をする際には、安全運転を心がけ、細心の注意を払い行っております。送迎毎の車内消毒、換気を行い、感染対策を徹底しております。送迎時にはご家族と関わる機会が多い為、苑の代表として伺っているという意識を持つことを徹底しております。

- 健康管理

送迎時の検温の実施、毎日のバイタル測定、入浴時の体調確認、水分、食事量の把握、排泄面での確認（回数、量、色、排便確認、便状態等）、身体状況、声掛け時の反応等、普段と少し違うと思われる些細なことでも、職員間で情報共有し、ご利用者の状態の変化にも素早く気づくことに努めています。異常だと思ふことがあれば、看護師へ速やかに報告を行うよう徹底し、早期対応に努めております。

感染対策を踏まえた上での適切な室温、湿度を保つよう換気を行い、快適な空間を提供するように配慮しております。

- 機能訓練

毎日の体操や漢字、計算問題の脳トレ、食事前の嚥下体操を継続して行っております。又、状態に合わせた歩行訓練、座位の状態でも可能な体操等、指や腕を動かす体操等、下肢筋力低下だけでなく、様々な部位の筋力低下防止に努めています。

- 行事、クラブ活動

毎月の行事担当者が中心となり、ご利用者の意見を収集しながら、企画、

実施しております。昔ながらの行事や、季節に合った行事、ご利用者がしたいことや興味のあることを行事として行っております。

- ボランティアの受け入れ、地域行事参加状況

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ボランティアの受け入れ、地域行事への参加は行っておりませんが、苑での行事等の情報は発信しながら、地域の方々やボランティアの方々とのつながりが途切れないよう努めています。

- 防火、防災訓練

防火訓練を実施し、消防設備点検を受けております。消火手順、消火器の使用方法、避難経路、避難場所等について改めて学ぶことができ、避難経路までの危険個所の把握、頭上からの危険等の注意点を確認することができ、苑としての地域の中の位置づけ、職員個々の役割の理解につなげました。

- 職員研修

外部研修に参加した職員から、学んだことを職員に伝える機会を作り、自分が学んだ知識や技術を、全職員で共有することに努めました。内部研修では毎月担当職員が講師となり、講義だけでなく、シミュレーションを踏まえた実技を実施することで、様々な視点から考えることができました。又、研修会での質疑応答を行うことを徹底し、担当者も参加者も共に、知識を得ることができる環境作りに努めました。今後ご利用者の適切な支援につながるよう、職員全体での知識、技術の向上に努めていきます。



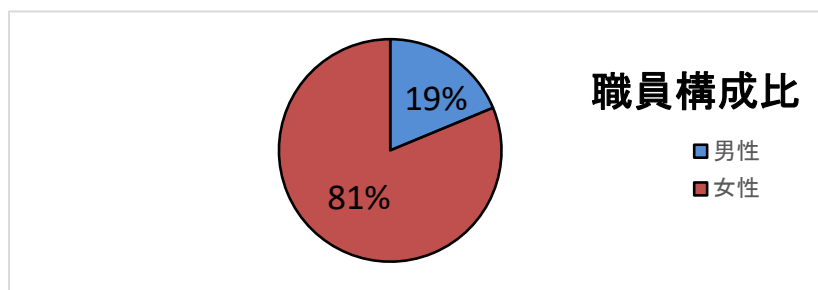


1. 事業所

① 概要

事業所名	小規模多機能型居宅介護 芳苑		
事業所種別	(介護予防)小規模多機能型居宅介護事業所		
事業所住所	愛媛県西条市大野134番地1		
管理者職名	管理者 川村 拓也		
職員数	男性	女性	総数
	3名	13名	16名

(令和4年3月31日現在)



②職員紹介

小規模多機能型居宅介護 芳苑は管理者1名、計画作成担当者1名、看護師1名、介護員15名(内管理者兼務、介護福祉士4名)が所属しています。

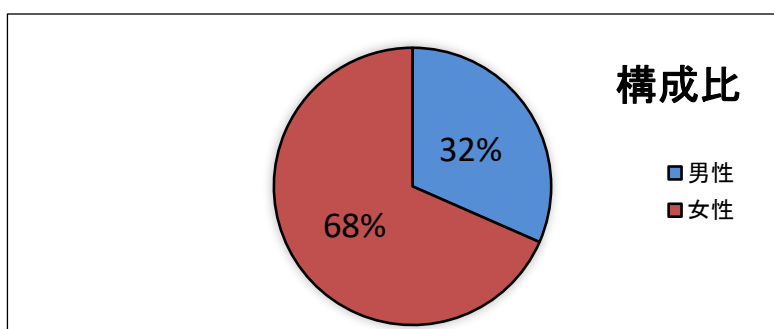
技能実習生も4名所属しており、介護の技術、知識を得るために、日々一生懸命学んでいます。

当施設は在宅と施設をつなぐ役割を担っており、今後のご利用者の生活を視野に入れ、法人の入り口として軽度から重度のご利用者の受け入れを行い、在宅生活を支援し、ご利用者の心身の状態に応じた施設へのスムーズな入所のお手伝いをさせて頂いております。

介護での支援はもちろん、看護、栄養等、様々な視点からご利用者、ご家族の生活をチームで支えていけるよう努めております。

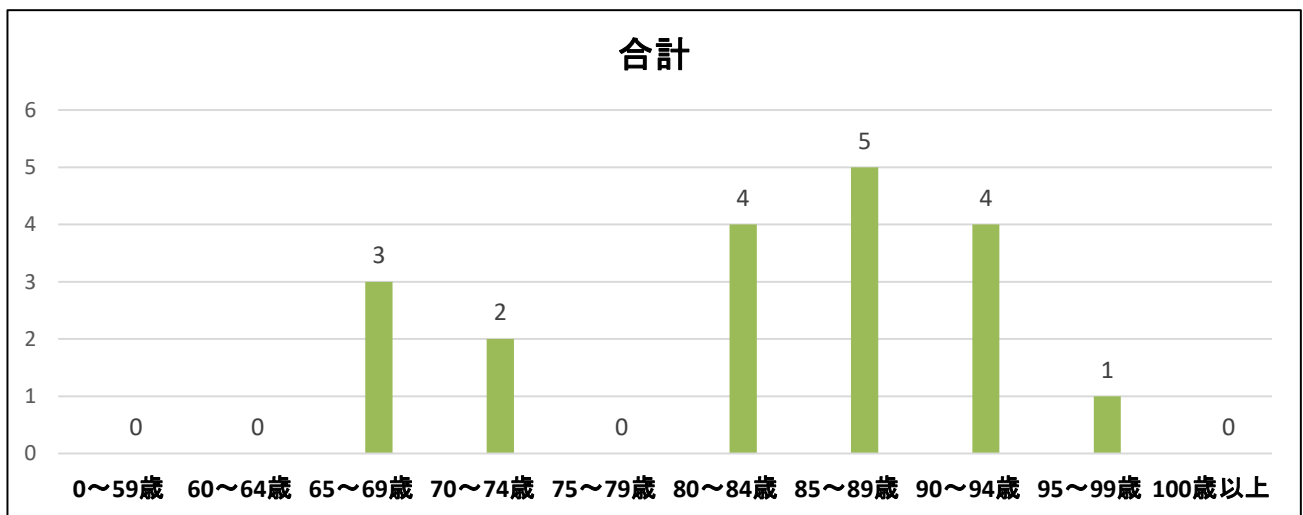
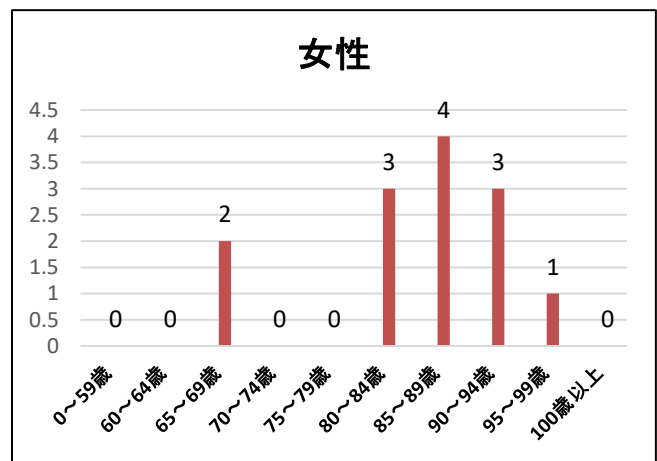
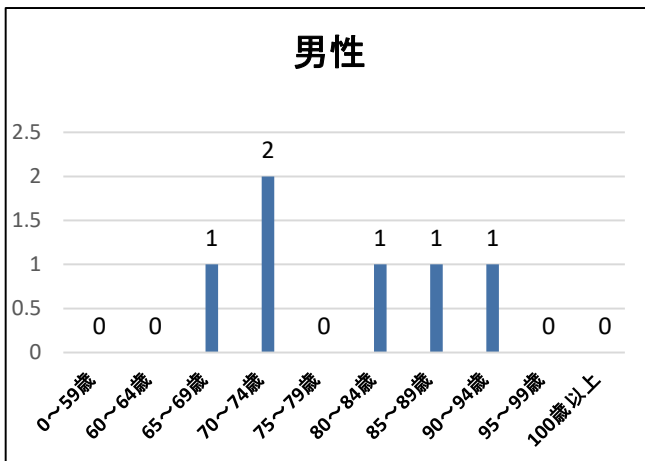
2. 定員及び現在人員(令和4年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
29	19	6	13



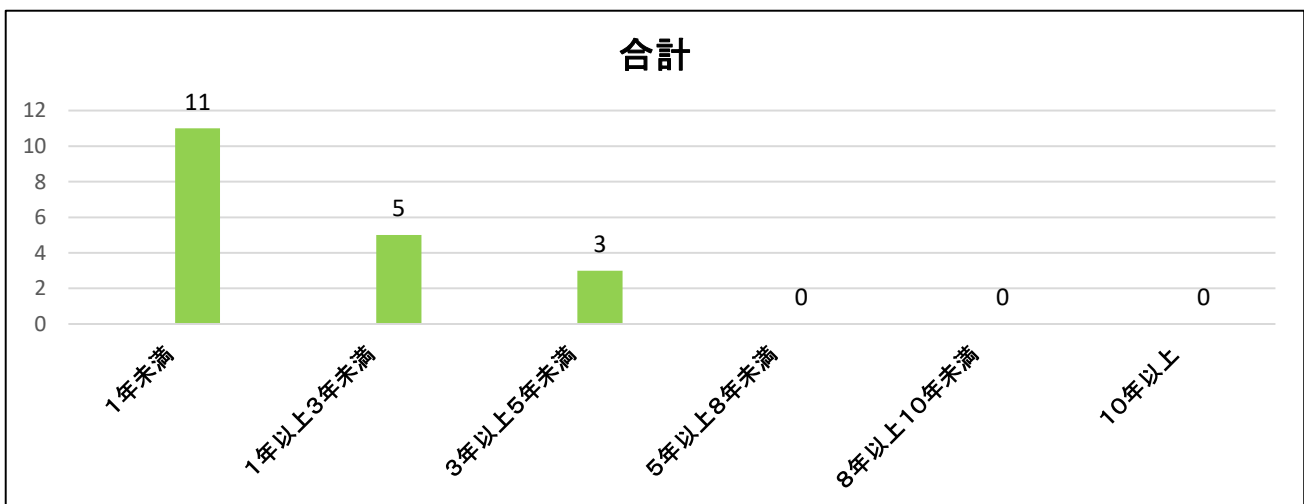
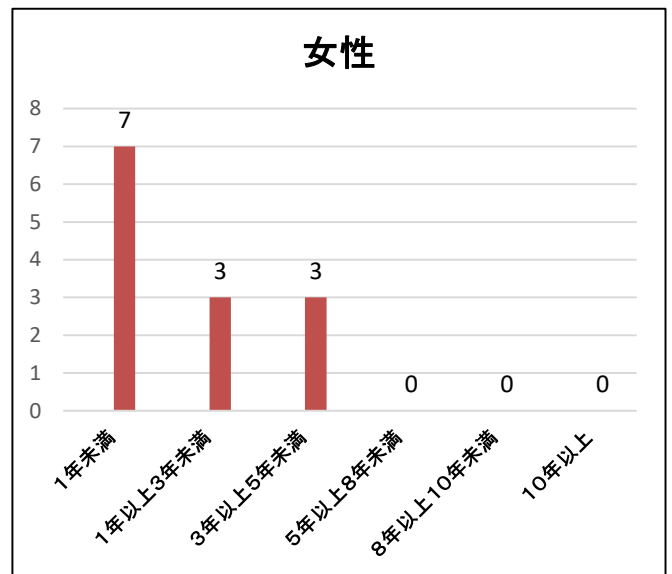
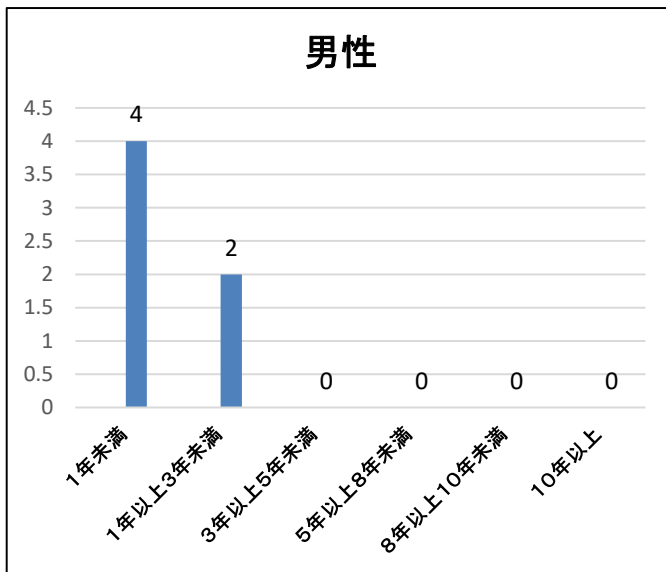
3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0%
60～64歳	0	0	0	0%
65～69歳	1	2	3	16%
70～74歳	2	0	2	11%
75～79歳	0	0	0	0%
80～84歳	1	3	4	21%
85～89歳	1	4	5	26%
90～94歳	1	3	4	21%
95～99歳	0	1	1	5%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	6	13	19	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	91	69	78	81.7
女性	95	68	85.3	



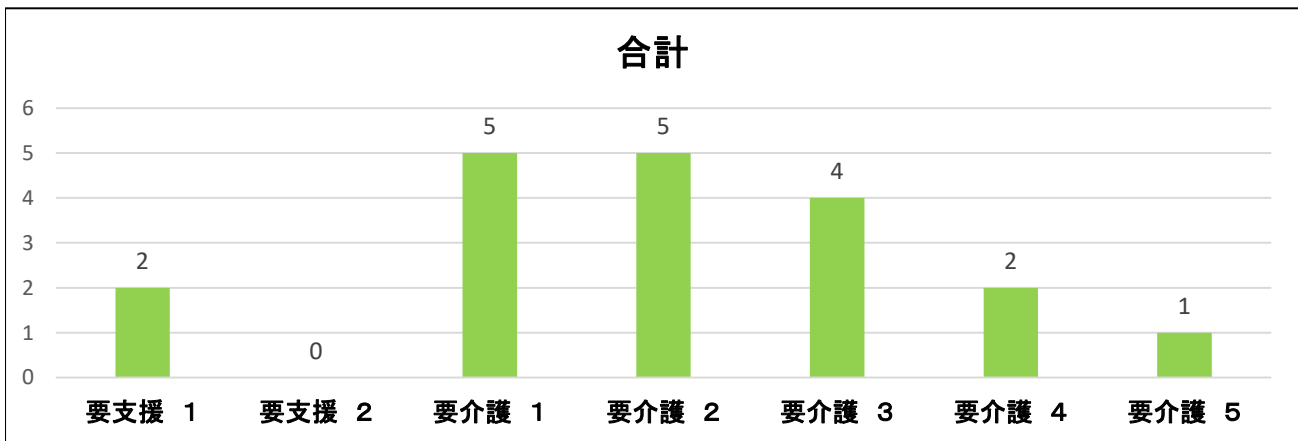
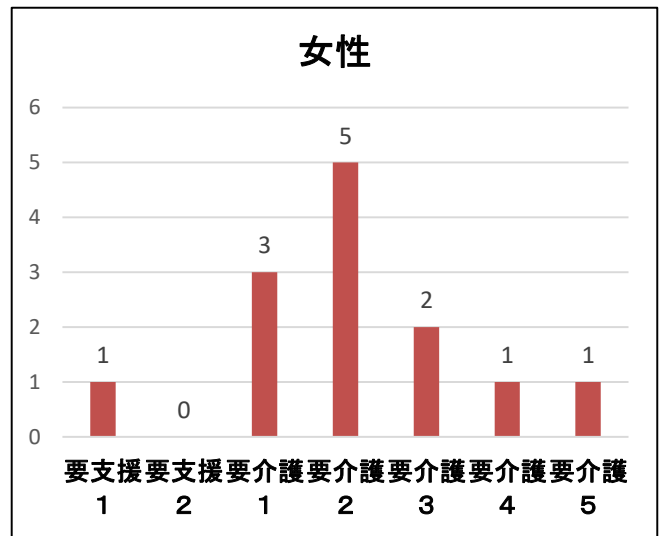
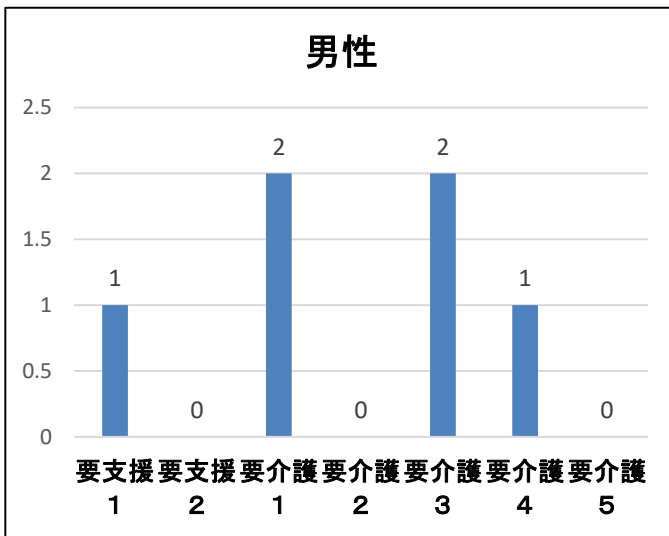
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	4	7	11	58%
1年以上3年未満	2	3	5	26%
3年以上5年未満	0	3	3	16%
5年以上8年未満	0	0	0	0%
8年以上10年未満	0	0	0	0%
10年以上	0	0	0	0%
合計	0	0	19	100%
平均入居期間(登録期間)	9ヶ月	1年1ヶ月		



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要支援 1	1	1	2	11%
要支援 2	0	0	0	0%
要介護 1	2	3	5	26%
要介護 2	0	5	5	26%
要介護 3	2	2	4	21%
要介護 4	1	1	2	11%
要介護 5	0	1	1	5%
合計	6	13	19	100%
平均介護度	2.08	2.19	2.13	



6. 面会状況(令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日迄)

総数	0人
1か月平均	0人
最高(1人あたり)	0人
最低(1人あたり)	0人
年間1人平均	0人
1か月1人平均	0人

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	接遇について・倫理及び法令遵守に関する研修	介護職員	18
5月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	看護職員	17
	身体拘束の排除のための取り組みに関する研修	介護職員	17
6月	BCPIに関する研修	介護職員	16
	非常災害時の対応に関する研修	介護職員	16
7月	事故発生又は再発防止に関する研修	介護職員	15
8月	高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	介護職員	15
9月	緊急時の対応に関する研修	介護職員	15
10月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	介護職員	15
	身体拘束の排除のための取り組みに関する研修	介護職員	15
11月	ハラスメントに関する研修	看護職員	15
12月	認知症及び認知症ケアに関する研修	介護職員	15
1月	プライバシー保護の取り組みに関する研修	看護職員	15
2月	防犯に関する研修	介護職員	15
3月	介護技術に関する研修	計画作成担当者	16

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
6月	講義	採用担当者研修	管理者
9月	講義(ZOOM)	雇用管理責任者講習	管理者
10月～3月	講義	初任者研修	介護職員

8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月	介護職員	花見会	15名+職員
5月	介護職員	鯉のぼり作成	15名+職員
7月	介護職員	七夕	15名+職員
7月	介護職員	おやつレク(かき氷)	15名+職員
8月	介護職員	夏祭り	15名+職員
9月	介護職員	運動会	15名+職員
9月	介護職員	敬老会	15名+職員
10月	介護職員	お月見会	15名+職員
11月	介護職員	創作活動(フラワーアレンジメント)	15名+職員
12月	介護職員	クリスマス会	15名+職員
1月	介護職員	書初め(正月遊び)	15名+職員
2月	介護職員	節分	15名+職員

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数

9. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和3年度	ご利用者家族	<p>自宅をご利用者が不安になっていることに対して、安心できるような対応はしているのか、と問い合わせ有。苑でもきちんと見ているのか等言われる。ご利用自身は感情が不安定であり、急に不機嫌になられること、怒られること、歩かれ帰ると言われること、すぐに状況が変わってしまうこと伝えるも、ご家族からの返答は見えていたらわかると言われ、現状の状態に納得されていない様子。又、急に苑に来られ大声、尚且つ威圧的に職員へ問いただすこともあり。</p>